

クラスだより こひつじ2組 1月号

明けましておめでとうございます。二学期が思わぬ形で終わってしまい、やり残したことから始まった三学期となりました。

まずはサンタさんからもらったクリスマスプレゼントを開封！中身は『マグビルド』と、ビデオカメラのような形の『顕微鏡』、そして『ぎょれつのできるサンドイッチ屋さん』の絵本でした！

子どもたちは大喜びで、毎日のようにサンタさんからもらったおもちゃで遊んでいます♪

また、一月は楽しいことが盛りだくさんで、こま回し大会をしたり、オリジナルのかるたを作ったり、こども動物園で動物たちと触れ合ったりと、様々なことをしました。クラスでも、やりたいことを次々楽しむ姿が見られています。残り少ない三学期も、子どもたちと楽しく豊かな経験が育まれるようにしたいと思っています。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

ページェントごっこ

ページェントを終えてから、二学期末にページェントごっこをする予定がまさかの学級閉鎖……。ということで、三学期に入り、ようやく行うことができました♪クリスマス会の役と全く同じ役を希望する子もいれば、違ったものに挑戦するお友達も☆

衣装を着る最後の機会、かつ久々のページェントのため、全体的に興奮するかな？と思いきや、椅子に座った子どもたちは何かのスイッチが入ったかのように落ち着いて、自分の役に没頭する姿がありました。また、自分の元担当した役を、他の友達が取り組んでいる際に、お言葉や動きが曖昧な姿を見て、「こうだよ……！」と小声で教えようとする様子がありました。そんな姿を見て、「前に自分がやってみた役を見て、自分とは違うなって感じたお友達もいると思う。それは、『私がやった方が素敵だった』『あの子の方が上手だった』ってことじゃなくて、『それぞれ自分にしかできない役がある』ってことなんだよ」という話をしました。

前回の役も、今回の役も、両方、今の自分にしかできないことがあって、どちらの役の方が良いとか、この子がやった役が素晴らしい等はなく、どちらも今自分が一生懸命取り組んだ物事は、全て尊いものだということに、気付いてもらえたら嬉しく思っています。最後は「もう一回やりたい！」という声も上がるほどに存分に楽しむことができた、ページェントごっこになりました☆



サンタさんからのプレゼント



炭酸作り☆

二学期に、重曹とトリートメントで作った雪。三学期に入ってから大人気で、毎日のように触って遊んでいました。その繋がり、お誕生日会の時に、私が「この粉に、魔法の水を入ると、不思議なことが起こるんだよ！」と言って、マジックを行うと……なんと液体がシュワシュワに！

「これ、何の粉だと思う？」と聞くと、これまでたくさんの粉に出会ってきた子どもたちは、「グラニュー糖！」「塩！」「小麦粉！」「米粉！」と次々に答えていました。「実は、この粉は重曹で、この水には、クエン酸って粉が入っているんだよ」と種明かしをすると、とても興味深く見ており、「私も作ってみたい」と言ってくる子の姿がありました。

そのため、みんなで炭酸作りを行うことに！紙コップに重曹、絵の具を入れ、そこにクエン酸水を入れました。最後は漏斗でペットボトルに入れて炭酸の完成！翌日からは自由活動中にも「炭酸作りたい！」という子がたくさんおり、用意していたペットボトルが全てなくなるほど、炭酸作りは大人気でした！

その後、ライトテーブルの上に飾っていると、一人の子が紙コップの底をくり抜いて引っ付けたものを作り、「これ自販機みたいにしてるんだー！」とペットボトルを中に入れて遊んでいました。「せっかくなら、もっと本格的なものを作ってみる？」と声をかけると、「作りたい！」とのことで、段ボールで自販機を作ることに！大量の炭酸ジュースが落ちてくる仕組みを作り「こんな本物みたいな初めて作った〜♪」と嬉しそうな姿も見られました☆

バスボムを作りたい！

炭酸を作った後に、とある子が「ねえ、バスボム作りたいんだけど」と発言する姿がありました。確かに、シュワシュワ繋がり、かつ重曹とクエン酸を使ってできるため、クラスみんなに提案してみると「やりたい〜！」との声が。「じゃあ作り方を調べて持ってきてね」と伝えていると、数日後にお家から調べて来てくれたり、バスボムを作ったことのある他クラスのお友達に聞いて教えてくれる子もいました。すると、その際他クラスのお友達に聞いたのか「バスボムの中のおもちゃの代わりに、プラバンを作りたい！」とみんなに提案した子がいたため、作ってみることにしました！炭酸作りから次々に子どもたちがやりたいことを提案して実現する様子に、三年間の積み重ねを感じます。また、どのように作ったかなど、子どもたちにも聞いてみて頂けたらと思います♪

今月の讃美歌・歌

♪わたしたちは口バの子
♪はじめのいっぽ

クラスの取り組み

寒くなってきたので、体調を崩さないよう子ども自身が体調管理の意識をして手洗いうがいをするように声をかけています。